

## — 京都府スポーツ推進委員協議会 —

～体育指導委員からスポーツ推進委員へ、全国・中ブロック・近畿の歩みから～

### 【沿革】

国における体育指導委員制度は、文部省（現文部科学省）が住民の生活に直結したスポーツの振興を図るには、体育指導委員を設置し、その活発な活動を求める必要があるとして、昭和 32 年の都道府県教育委員会に対する文部事務次官通達「地方スポーツの振興について」により始まります。また、体育指導委員の全国組織として、昭和 35 年に全国体育指導委員協議会が結成され、昭和 50 年に『**社団法人全国体育指導委員連合**』が設立されました。その間、体育指導委員は、昭和 36 年に制定された「スポーツ振興法」第 19 条において、市区町村教育委員会が任命する非常勤公務員として、法的に位置付け（必置規制）られました。この制度は、世界に例のない制度であり、僅かな財政措置の中で、非常勤公務員という誇りと使命感により、地域のスポーツ振興に大きく貢献してきました。

『**京都府体育指導委員協議会**』は、スポーツ振興法が施行された翌年の昭和 37 年 4 月 1 日に設立（京都府議会資料より）されました。昭和 44 年度からは、体育指導委員の資質の向上を目指して第 1 回の研究大会を開催、今年度で第 45 回を数えます。昭和 52 年には、京都府内の体育指導委員相互の連絡を密にし、相協力して生涯スポーツの振興を図り、体育指導委員本来の使命を達成することを目的とした規約が施行され、組織の充実が図られました。

『**近畿体育指導委員協議会**』は、研究協議会を開催するために組織され、第 1 回大会を昭和 50 年度に大阪府で開催し、2 府 4 県持ち回りとして毎年開催されています。京都府でも昭和 51 年度の京都市から 6 回開催（平成 6 年度、4 回目の舞鶴市は阪神・淡路大震災により直前で中止）してきました。昭和 59 年に、近畿体育指導委員協議会の規約が整備され、組織強化が図られました。

昭和 59 年度、全国を「東・中・西」の 3 ブロックに分け、全国体育指導委員連合の副会長を各ブロックから 1 名選出することになりました。平成 5 年度からは、北陸・東海・近畿の 2 府 12 県で構成する『**中ブロック体育指導委員連絡協議会**』が組織され、全国体育指導委員連合の役員改選年度にあわせて 2 年毎に代表者会義が開催されるようになりました。

平成 11 年に「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」（いわゆる「地方分権一括法」）が公布、同年にスポーツ振興法が一部改正され、体育指導委員の必置規制の弾力化（スポーツ振興法第 19 条「…体育指導委員を置く。」→「…体育指導委員を委嘱するものとする。」）が図られましたが、条文に謳われている資質（「社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を持ち、及びその職務を行うのに必要な熱意と能力を持つ者」と役割（「当該市町村におけるスポーツ振興のため、住民に対し、スポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行うものとする。」）については、改正されませんでした。

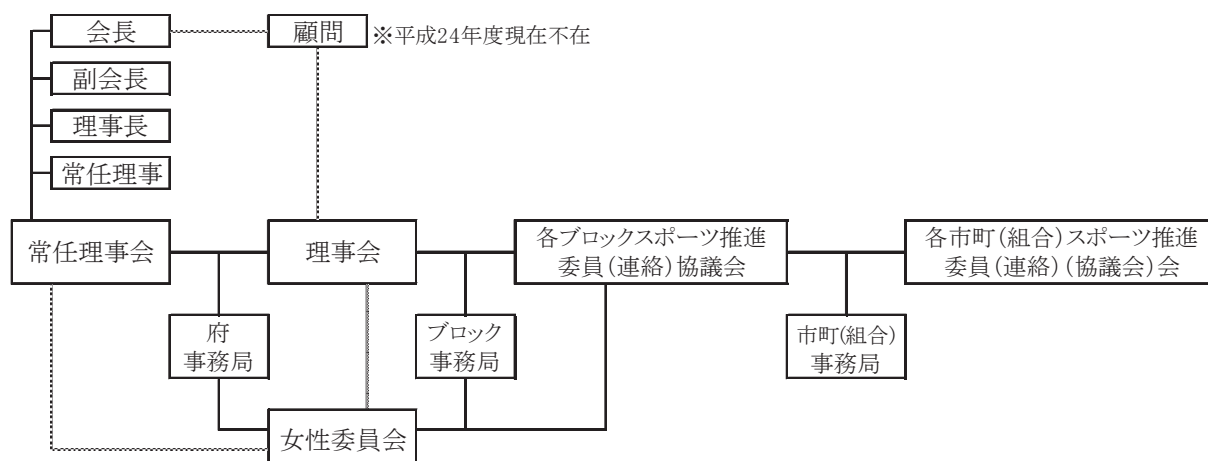
平成 23 年には、スポーツ振興法を 50 年ぶりに全面改正し、改めてスポーツの理念を定義し、国及び地方公共団体の責務やスポーツ団体の努力などについて定めた「スポーツ基本法」が施行されました。「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」に名称が変更され、新たに役割の中に「連絡調整等の職務」が加わり、文字どおり地域のスポーツ振興の推進役であるスポーツ推進委員のコーディネーターとして期待されるようになり、今後、活躍の場はさらに広がっていくものと思われます。同年、スポーツ基本法の施行に伴い、近畿体育指導委員協議会は『**近畿スポーツ推進委員協議会**』に名称変更しました。

平成 24 年度、公益法人制度改革により、全国体育指導委員連合は『公益社団法人全国スポーツ推進委員連合』として新たに発足し、京都府体育指導委員協議会は『京都府スポーツ推進委員協議会』に改称し、設立 50 周年を迎えました。この年度には、京都府において、『中ブロックスポーツ推進委員連絡協議会』代表者会義を亀岡市で開催し、近畿スポーツ推進委員研究協議会を京丹後市で開催しました。

## [年表]

昭和 32 年度	体育指導委員制度が発足（文部事務次官通達による）
昭和 37 年度	京都府体育指導委員協議会を設立（京都府議会資料より）
昭和 44 年度	第 1 回京都府体育指導委員研究大会を開催（会場地等不明）
昭和 50 年度	京都府体育指導委員協議会表彰（功労者表彰）始まる
昭和 51 年度	高木茂会長、近畿体育指導委員協議会の会長に就任 近畿体育指導委員研究協議会を京都市で開催（府立勤労会館） 規約を施行（S 52.2.23 理事会承認）
昭和 58 年度	高橋昭治会長、近畿体育指導委員協議会の会長に就任 近畿体育指導委員研究協議会を京都市で開催（府立勤労会館）
昭和 61 年度	全国体育指導委員研究協議会を京都市で開催（京都会館他）
昭和 63 年度	馬場友治会長、近畿体育指導委員協議会の会長に就任 近畿体育指導委員研究協議会を京都市で開催（府立勤労会館・体育館）
平成 6 年度	櫻井裕会長、近畿体育指導委員協議会の会長に就任 近畿体育指導委員研究協議会を舞鶴市で開催の準備をするが、阪神・淡路大震災により直前に中止（舞鶴市総合文化会館、舞鶴文化公園体育館）
平成 12 年度	井上陽男会長、近畿体育指導委員協議会の会長に就任 近畿体育指導委員研究協議会を宇治市で開催（宇治市文化センター他）
平成 15 年度	女性委員会を設置（規約第 9 条の規定による）
平成 16 年度	平成の市町村大合併及び京都府の地方機関総合に伴い、府内ブロックを 8 から 6 ブロック（京都市、乙訓、山城、南丹、中丹、丹後）に再編（北桑田は南丹、与謝は丹後に統合）
平成 18 年度	山下正則会長、近畿体育指導委員協議会の会長並びに全国体育指導委員連合の理事に就任
平成 19 年度	文部科学省の委託事業「子どもの体力検定事業」を実施
平成 20 年度	川隅富士夫会長、全国体育指導委員連合の理事に就任
平成 22 年度	各市町（組合）の負担金を増額（1 人あたり 200 円→400 円） 常任理事を 2 名から 4 名に増員（常任理事会に全ブロック選出理事が参画） 新規事業「女性委員会ブロック交流会」を創設 山下正則元会長、藍綬褒章受章（スポーツ振興功績）
平成 23 年度	社団法人全国体育指導委員連合から京都府体育指導委員協議会へ感謝状贈呈（長期間にわたる賛助会費納入による）
平成 24 年度	設立 50 周年事業を 1 年間にわたり実施（歴代ブロック会長に感謝状贈呈、記念講演の開催、記念誌の発行、祝賀会の開催） 森本豊会長、中ブロックスポーツ推進委員連絡協議会並びに近畿スポーツ推進委員協議会の会長に就任 中ブロックスポーツ推進委員連絡協議会代表者会義を亀岡市で開催（湯の花温泉「溪山閣」、亀岡運動公園、保津峡「トロッコ列車」） 近畿スポーツ推進委員研究協議会を京丹後市で開催（府立丹後文化会館、大宮社会体育館、大宮中学校体育館、アグリセンター大宮多目的ホール他）

## 【組織】



## 【スポーツ推進委員数の推移（過去10年）】

年度(日)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
人数(名)	1,292	1,241	1,227	1,141	1,154	1,131	1,129	1,093	1,083	1,091

## 【事業内容（毎年のもの）】

- 常任理事会、理事会及び女性委員会の開催
- 京都府スポーツ推進委員研究大会の開催
- 京都府スポーツ推進委員協議会地区別事業の実施（6ブロック）
- 全国スポーツ推進委員研究協議会への参加
- 生涯スポーツ・体力づくり全国会議への参加
- 近畿スポーツ推進委員研究協議会への参加
- 女性スポーツ推進委員ブロック交流研修会の開催（※H22 新規）
- スポーツ推進委員リーダー講習会への参加（※H24 新規）
- 大会等の後援、共催、協力（本会の目的達成に資する事業の後援、共催、協力）
- 各種表彰（京都府、近畿、中ブロック、全国、文部科学省）

## 【今後の展望】

平成23年8月にスポーツ基本法が施行されました。その中で、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」とあり、初めて法律に『スポーツ権』が明文化されました。まずは、スポーツ推進委員自らがスポーツ権を確立することが必要だと思います。また、スポーツ推進委員の役割に、「スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整」が加わり、地域においてコーディネーターとしての活躍が期待されています。

事務局がある京都府教育委員会（以下、府教委）では、京都府スポーツ推進審議会において、平成26年度から実施予定の新たな「スポーツ推進計画」の検討を始めており、本協議会会長も委員として加わり、スポーツ各分野の専門家が集まった小委員会を立ち上げています。また、この50年の節目の年に府内全スポーツ推進委員により、府教委が実施する府民のスポーツに関する調査に協力し、併せて、普段は運動・スポーツに親しみのない住民の方々に示唆を与えることができる『「スポーツごころ」実感チャート』の配布もしました。これらを契機に今後とも、子どもから高齢者まで地域の人たちに実感チャートに示されている7つの気持ち「つながり、目標、楽しみ、感動、健康、挑戦、継続」（スポーツご

ころ)を大切に、資質の向上と組織の充実、強化を図るため、研修等事業を効果的に実施していきます。

## 「京都府民のスポーツに関する調査」への協力

今後の京都府におけるスポーツ振興の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的に、府教委が実施する府民のスポーツ活動やその意識の実態調査について、京都府内のスポーツ推進委員が全面的に協力して実施しました。

9月には、各ブロック又は市町村の会議、研修会において、スポーツ推進委員、各教育局生涯スポーツ担当者、各市町(組合)教育委員会生涯スポーツ担当者に対して府教委から説明があり、10月に入り調査票等について、各区市町(組合)事務局を通じて、スポーツ推進委員へ配付されました。10月下旬からは、スポーツ推進委員により対象家庭(府内全スポーツ推進委員一人当たり5名を無作為抽出した約5,400名)へ調査票を配布、併せて、「スポーツごころ」実感チャート(リーフレット)を配布し、12月までに郵送等により、調査票が回収されました。

### ＜回収結果＞(平成25年1月集計)

○有効回答数：3,201通、○有効回収率：34.1%

◎週1回以上の運動・スポーツの実施率の推計

59.4% (継続時間が長くないが身体を動かすことを楽しんでいる人の場合)

48.1% (1日の運動合計時間が30分以上である人の場合)

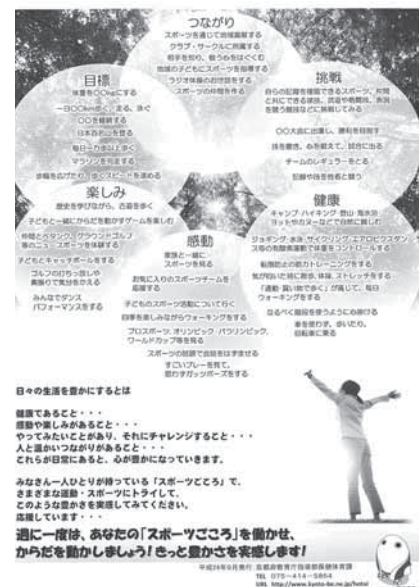
## 「スポーツごころ」実感チャート(リーフレット)の配布

国では、スポーツ基本計画が策定され、「成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率を3人に2人以上(約66.7%)にする。」という目標が掲げられました。このリーフレットは、京都府でも、この目標を達成するために府民の一人ひとりが持っている前向きな心(「スポーツごころ」と呼んでいます)をより一層呼び起こそうと考え、「スポーツごころ」を合言葉に、運動・スポーツをとおして、みんなで生活の豊かさを実感できるツールとして、京都府教育庁指導部保健体育課が作成したものです。

平成23年度のリーフレット考案段階から常任理事会や女性委員会で意見交換し、地域スポーツ推進の最前線に立つスポーツ推進委員の意見も反映されたものとなっています。今回、各家庭で活用していただくために、「京都府民のスポーツに関する調査」と併せて、府内全スポーツ推進委員が対象家庭を回り、リーフレットを配布して啓発をしました。



(リーフレット表裏表紙) →



## — 女性委員会 —

### 【委員長挨拶】 高月 裕子



女性委員会は、女性スポーツ推進委員の活動推進に関する事項について審議し、処理することを目的に、京都府スポーツ推進委員協議会規約第9条の規定に基づき、平成15年5月21日の理事会で規程が承認され、設置しました。また、府の活動に先がけ、全国体育指導委員連合では、女性委員の活動への積極的な参画を進めるため、「女性対策委員会」を平成元年度に発足、平成3年度に名称を「女性委員会」に改称されています。なお、近畿体育指導委員協議会でも平成16年2月6日の近畿会長会で規約が承認され、活動が始まりました。

平成23年度には、全国スポーツ推進委員連合では、所期の目的が達成できたとして、女性委員会が発展的解消されましたが、近畿は各府県の交流を継続し、年2回開催から1回に整理されました。

府では、平成22年度から「ブロック交流研修会」を立ち上げ、年3回（女性委員会としては2回）研究協議をする機会を設け、各ブロック選出女性委員の資質の向上と交流を図っており、ひいては、各地区におけるニュースポーツの考案や啓発に繋がり、地域スポーツの推進に資する活動をしています。

### 【沿革（全国、近畿含む）】

平成元年度	全国体育指導委員連合「女性対策委員会」を設置
平成3年度	全国体育指導委員連合「女性委員会」に改称
平成15年度	京都府体育指導委員協議会「女性委員会」を発足
平成16年度	近畿体育指導委員協議会「女性委員会」を設置
平成22年度	新規事業「ブロック交流研修会」を立ち上げ
平成23年度	全国体育指導委員連合「女性委員会」を発展的解消

### 【平成24・25年度委員名簿】

ブロック	区市町	氏名	女性委員会	府役職
京都市	北区	藤本 登志子	委員	理事
乙訓	長岡京市	瀬川 克美	委員	
山城	久御山町	高月 裕子	委員長	常任理事
南丹	亀岡市	西村 禮子	副委員長	理事
中丹	舞鶴市	西村 あおい	委員	
丹後	宮津市	森田 美砂子	委員	

### 【ブロック交流研修会】

平成22年度	「中丹地区女性体育指導委員の集い」を視察（コップ in ゴルフ体験）
平成23年度	「山城地方女性スポーツ推進委員研修会」を視察（ホースリングゲーム体験）
平成24年度	「乙訓地区スポーツ推進交流会」を視察（スリータッチボール体験）



# — 京都市スポーツ推進委員会 —

## 【委員長挨拶】 藤井 博志



昨年、スポーツ基本法が制定され、私たちの名称が体育指導委員からスポーツ推進委員に変わりました。また、同法は、「スポーツ」は「権利」であると謳い、「日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない」と明記しています。私たちスポーツ推進委員の活動は、まさに、身近な地域においてこのような機会をつくることであり、その果たす役割

に対する社会の期待が高まっていると感じています。

このような期待に応えるべく、京都市スポーツ推進委員は、京都市におけるスポーツ振興の要として、各学区、行政区、全市で行われるスポーツイベントの企画運営や審判など精力的に活動し、スポーツを通じた地域の活性化にも貢献しております。

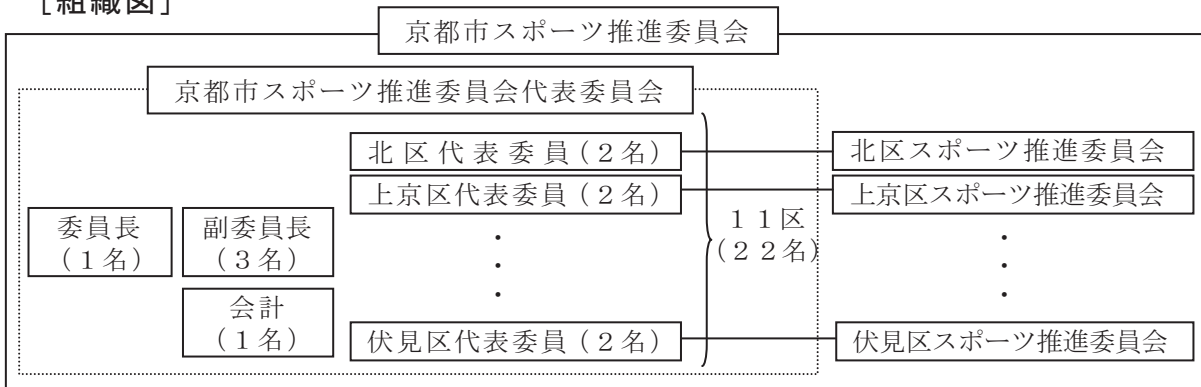
今後も、スポーツ推進委員に期待される役割を果たしていけるよう、地域スポーツ、生涯スポーツの普及発展のため、日々研鑽を重ねてまいります。

## 【沿革】

京都市では、国における体育指導委員制度の創設に先駆けて、昭和 26 年から市民体育指導員（のち、京都市社会体育指導員に改称）が委嘱され、昭和 39 年に、現在のスポーツ推進委員会の母体となる「京都市社会体育指導員協議会」が設立されました。以来、社会体育指導員を体育指導委員と見なしてきましたが、平成 5 年に、スポーツ振興法に基づく「体育指導委員」として制度化することにより身分の安定と職務の明確化を行い、同年に「京都市体育指導委員会」が発足しました。平成 23 年 9 月からは、スポーツ振興法を全面改正したスポーツ基本法に基づき、名称を「京都市スポーツ推進委員会」に改めました。

## 【組織】

### 〔組織図〕



### 〔役員名簿〕

委員長	藤井 博志 (北 区)	副委員長	原島 源一 (山科区)
副委員長	小川原 繁 (下京区)	会計	中嶋 丈介 (中京区)
副委員長	吉田 昌功 (伏見区)		

## [スポーツ推進委員数の推移（過去5年）]

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
委員数	573人	567人	570人	605人	602人

（各年4月1日現在）

### 【歴代委員長】

平成5年度～平成7年度	黒田 清太郎（北区）
平成8年度～平成13年度	坂本 憲三（伏見区）
平成14年度～平成19年度	山下 正則（西京区）
平成20年度～平成21年度	小林 清和（中京区）
平成22年度～平成23年度	道下 善一（南区）
平成24年度～現在	藤井 博志（北区）

※京都市体育指導員会発足後

### 【事業内容】

- 1 京都市・体育振興会等が主催する各種スポーツ事業における大会運営
  - 6月上旬 京都市体育振興会連合会会長集会（ニュースポーツ大会）
  - 7月下旬 京都市ソフトボール大会・京都市壮年ソフトボール大会
  - 9月初旬 京都市バレーボール祭
  - 11月3日 市民スポーツフェスティバル
  - 11月中旬 チャンピオン大会（女子バレーボール）
  - 3月頃 京都マラソンへのボランティアスタッフとしての参画
- 2 地域におけるスポーツ実技指導・普及活動
  - 京都市地域体育館における「生涯スポーツ講習会」での指導
- 3 講習会及び研究大会による自己の指導力向上の取組
  - 10月中旬 市民スポーツフェスティバル 審判講習会
  - 2月中旬 ニュースポーツ講習会
  - その他、府・近畿・全国等の研修への参加

### 【今後の取組（展望）】

昨今、市民のスポーツと健康に対する意識や知識が高まる中、スポーツ推進委員に対し、スポーツリーダーとしての意識改革と資質向上が強く求められています。また、スポーツそのものの指導のみならずスポーツの楽しみ方やスポーツと健康に関するアドバイスなど多様な側面から市民のスポーツ活動への支援を充実していくための取組も必要となっています。

このため、スポーツ推進委員がこれらのニーズに応えられる活動ができるよう、研修を充実させ、資質向上に努めていきます。

また、委員数を確保し、地域でのスポーツ活動を充実させるため、新たな人材の発掘などを進めていきます。

# — 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会 —

## 【会長挨拶】 林 秀行



乙訓スポーツ推進委員連絡協議会は、向日市、長岡京市及び大山崎町の2市1町のスポーツ推進委員で構成され、現在38名が生涯スポーツの推進とスポーツ推進委員の使命を達成するべく、相互の連携を密にしながら積極的に活動しています。

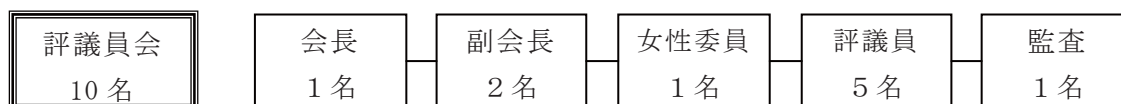
乙訓地域は、2市1町全てに総合型地域スポーツクラブが創設されるなど、地域スポーツ活動が活発に行われており、本協議会としても地域住民のニーズを踏まえたコーディネーターとしての役割を果たし、ニュースポーツの企画、指導及び普及発展に向けて取り組んでいきたいと思っております。

## 【沿革】

昭和47年 乙訓体育指導委員連絡協議会設立  
平成24年 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会に名称変更

## 【組織】

### [組織図]



### [役員名簿] (平成24年度)

会 長	林 秀行 (長岡京市)	評 議 員	梅田 一美 (向日市)
副 会 長	田賀 千恵 (向日市)		岩木 治 (向日市)
	坂本 桂一 (大山崎町)		結城 正典 (長岡京市)
女性委員	瀬川 克美 (長岡京市)		小島 弘美 (大山崎町)
監 査	田中 礼子 (大山崎町)		河原崎清隆 (大山崎町)

### [スポーツ推進委員数の推移 (過去10年)]

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
人数	43名	45名	43名	41名	41名	39名	36名	37名	36名	38名



## 【歴代会長】

昭和 53～54 年度	河原崎 進 (大山崎町)	平成 8～9 年度	岸本 勝治 (大山崎町)
昭和 55 年度	生嶋 嘉男 (向日市)	平成 10～11 年度	藤田 英夫 (向日市)
昭和 56 年度	富田 一成 (向日市)	平成 12～13 年度	三好 喜勝 (長岡京市)
昭和 57～58 年度	北村 正己 (長岡京市)	平成 14～15 年度	恵嶋 繁雄 (大山崎町)
昭和 59～60 年度	河原崎 進 (大山崎町)	平成 16～17 年度	藤田 英夫 (向日市)
昭和 61～62 年度	富田 一成 (向日市)	平成 18～19 年度	三好 喜勝 (長岡京市)
昭和 63～平成元年度	篠田 智之 (長岡京市)	平成 20～21 年度	恵嶋 繁雄 (大山崎町)
平成 2～3 年度	河原崎 進 (大山崎町)	平成 22～23 年度	藤田 英夫 (向日市)
平成 4～5 年度	藤田 英夫 (向日市)	平成 24 年度～	林 秀行 (長岡京市)
平成 6～7 年度	勝田 歳一 (長岡京市)		

## 【事業内容】

### [スポーツ指導者研修会]

年間 2 回実施しているスポーツ指導者研修会は、気軽に親しむことができるニュースポーツを中心とした実技講習や、試合形式による対戦の中で審判講習を行うなど、指導者養成と資質の向上を図る場となっています。



### [女性スポーツ推進委員交流会]

隔年開催の女性スポーツ推進委員交流会は、乙訓地域の女性スポーツ推進委員が企画・運営し、資質の向上と地域スポーツの一層の振興を図るとともに、市町を越えた相互交流の場となるよう実施しています。



### 【今後の取組（展望）】

平成 26 年度には京都府スポーツ推進委員研究大会が乙訓地域で開催される予定であり、現在取り組んでいるスポーツ指導者研修会や女性スポーツ推進委員交流会の他にも、2 市 1 町のスポーツ推進委員がより一層指導力を向上させ、結束を高められるような事業を実施していきたいと考えています。

# — 山城地方スポーツ推進委員協議会 —

## 【会長挨拶】 森本 豊



山城地方は京都府の南部に位置し、日本の文化のルーツを形成した京都と奈良を結ぶ歴史文化軸上に展開する地方であり、三重県、滋賀県、大阪府、奈良県の4府県と隣接しています。この地方は、大都市近郊に位置し豊かな自然に恵まれる一方、最先端の研究開発施設が立地する関西文化学術研究都市やものづくり企業が集積し、新産業や新文化などの発信の拠点・中心となっています。

当協議会では、山城地方のスポーツ推進委員相互の連絡を密にし、社会体育の推進を図ることを目的として、住民や各種スポーツ団体の中心となり、スポーツの実技その他スポーツに関する指導・助言を行い、地域にスポーツの楽しさを伝え、誰もがスポーツをしやすい環境をつくるため、様々な事業の企画・運営を行っています。

また、女性委員会ではニュースポーツの考案、啓発を行っており、地域における体育・スポーツの振興に資する活動をしています。

## 【沿革】

- 昭和 40 年 「山城地方体育指導委員協議会」設立
- 平成 7 年 「山城地方女性委員会」設立
- 平成 19 年 相楽郡山城町、木津町、加茂町の3町が合併し、木津川市が発足したことによる組織改編
- 平成 21 年 相楽郡和束町、笠置町、南山城村の相楽東部3町村の教育委員会が広域連合に移行したことによる組織改編
- 平成 24 年 「スポーツ基本法」の施行に伴い、名称を「山城地方スポーツ推進委員協議会」に変更

## 【組織】

### [組織表]

組織名	職名	人数	内 容
理 事 会	会 長	1 名	本会を代表し、会務を掌理する。
	副会長	3 名	会長を補佐し、会長に事故あるときその職務を代行する。
	常任理事	7 名	議事を処理する。
	女性委員	1 名	議事を処理する。
	幹 事	3 名	議事を処理する。
	会計監査	2 名	本会の会計を監査する。
	事務局担当者	若干名	本会の事務を処理し、経理を行う。
	理 事	若干名	議事を処理する。
	社会体育担当者	若干名	議事を処理する。

**[役員名簿]**

(平成 24 年 10 月 1 日現在)

会 長	森 本 豊 (精華町)	幹 事	3 名
副 会 長	木佐一 憲治 (城陽市)	会 計 監 査	2 名
副 会 長	尾 崎 田 鶴 (木津川市)	事 務 局 者	5 名
副 会 長	木 下 静 子 (京田辺市)	理 事	26 名
常 任 理 事	7 名	社 会 体 育 担 当 者	10 名
女 性 委 員	1 名		

**[女性委員会名簿]**

委 員 長	高 月 裕 子 (久御山町)	副 委 員 長	馬 淵 佳 津 子 (宇 治 市)
委 員	8 名		

**[スポーツ推進委員数の推移]**

	平 成 15 年度	平 成 16 年度	平 成 17 年度	平 成 18 年度	平 成 19 年度	平 成 20 年度	平 成 21 年度	平 成 22 年度	平 成 23 年度	平 成 24 年度
合計 (人)	237	236	235	228	230	226	218	219	213	212

**【歴代会長】**

期 間	氏 名 (所 属)
昭和 57 年度 ~ 平成元年度	馬 場 友 治 (木津町)
平成 2 年度 ~ 平成 13 年度	井 上 陽 男 (宇治市)
平成 14 年度 ~ 平成 19 年度	奥 西 康 人 (井手町)
平成 20 年度 ~ 現 在	森 本 豊 (精華町)

**【事業内容】**

- 1 スポーツ推進委員の資質の向上に関する研修会、講習会等の開催
- 2 地域スポーツの振興に関する事業
- 3 社会体育の振興のための関係機関との連携調整及びこれらに対する要望
- 4 その他本会の目的を達成するために必要な事業

**[主な取組]**

- ◇ 山城地方スポーツ推進委員交流会 (各市町 (広域連合) 対抗交流試合を実施)
  - ◇ 山城地方女性スポーツ推進委員研修会 (女性委員会考案のニュースポーツ研修会を開催)
  - ◇ やましろ未来っ子小学校 EKIDEN (山城地域における小学生駅伝の支援)
  - ◇ 山城地域スポーツ推進研修会 (山城地方体育協会連絡協議会との共催による理論研修会を開催)
- など

**【今後の取組】**

山城地方スポーツ推進委員協議会では、各市町 (広域連合) がスポーツ振興を目的として実施している企画や事業の交流、情報交換を活発化させ、山城地域の子どもから高齢者に至るまでのスポーツを通じた健康づくり・体力づくりに取り組んでいくとともに、豊かなスポーツライフの実現に向けて、AED等救命講習をはじめ様々な研修会・講習会を開催し、同地域のスポーツ推進委員の資質向上に努めてまいります。

## — 南丹スポーツ推進委員協議会 —

### 【会長挨拶】 徳田 利春



南丹地域は、京都府のほぼ中央に位置する亀岡市、南丹市及び京丹波町の3市町で構成されており、豊かな自然、食材や農林資源、伝統ある文化等の地域資源が豊富な地域であり、また、各市町に総合型地域スポーツクラブが活動されている等、地域スポーツも大変盛んな地域です。

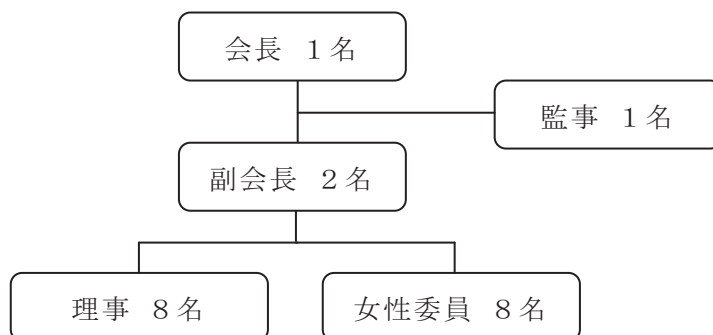
南丹スポーツ推進委員協議会では、南丹地域のスポーツ推進委員相互の連絡を密にし、また、住民に対するスポーツの実技指導及び助言を行う等、社会体育の振興・発展に寄与しています。

### 【沿革】

- 平成 16 年 5 月 1 日 南丹体育指導委員協議会設立（1市8町体制）
- 平成 17 年 4 月 1 日 京北町が京都市へ編入（1市7町体制）
- 平成 17 年 10 月 11 日 丹波町、瑞穂町及び和知町が合併により京丹波町設置（1市5町体制）
- 平成 18 年 1 月 1 日 園部町、八木町、日吉町及び美山町が合併により南丹市設置（2市1町体制）
- 平成 24 年 4 月 1 日 南丹スポーツ推進委員協議会に名称変更

### 【組織】

#### [組織図]



## [役員名簿]

会長	徳田 利春	(南丹市)	女性委員長	西村 禮子	(亀岡市)
副会長	奥野 正三	(亀岡市)	副女性委員長	東 清子	(京丹波町)
	津田 勝二	(京丹波町)	女性委員	宇佐美年樹子	(亀岡市)
理事	西村 禮子	(亀岡市)		浅田 美佐保	(亀岡市)
	福田 明美	(亀岡市)		下司 富美子	(南丹市)
	平井 和夫	(亀岡市)		奥村 梨恵子	(南丹市)
	齊藤 昌久	(南丹市)		名古 明美	(南丹市)
	山田 洋三	(南丹市)		永井 千鶴	(京丹波町)
	湯浅 みさを	(南丹市)			
	片田 泰和	(京丹波町)			
	坂本 貴之	(京丹波町)			
監事	湯浅 康弘	(南丹市)			

## [スポーツ推進委員数の推移 (過去9年)]

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
人数	149人	125人	89人	87人	88人	88人	88人	87人	89人

## 【歴代会長】

平成16年度～平成21年度	川隅 富士夫	(南丹市)
平成22年度～現在	徳田 利春	(南丹市)

## 【事業内容】

- 1 スポーツ推進委員の資質の向上に関する研修会等の開催
- 2 社会体育の振興のための関係機関との連絡・調整
- 3 その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 【今後の取組 (展望)】

50周年記念大会である今年度に南丹地域で京都府スポーツ推進委員研究大会が開催され、3市町の取り組んできた成果が発表できました。

今後もより一層スポーツ推進委員の実技指導及び助言指導力を向上させ、実技指導及び助言指導力を向上させ、地域のニーズに即した活動を行っていきます。

# — 中丹地区スポーツ推進委員連絡協議会 —

【会長挨拶】 入江 一郎



## 「中丹はひとつ」

中丹地区は綾部市・福知山市・舞鶴市で構成され、東は福井県、西は兵庫県に接し、日本海にも面しています。高速道路、鉄道の分岐点があり、スポーツ施設も充実しています。昔から大きな大会が開催されており、スポーツへの意識が非常に高い地域です。

中丹地区では現在、3市65名のスポーツ推進委員がニュースポーツの指導をはじめ、特に子どもたち・障害のある方々・高齢者の方々の活動に力を注いでおります。

「中丹はひとつ」を合言葉に積極的に活動しています。

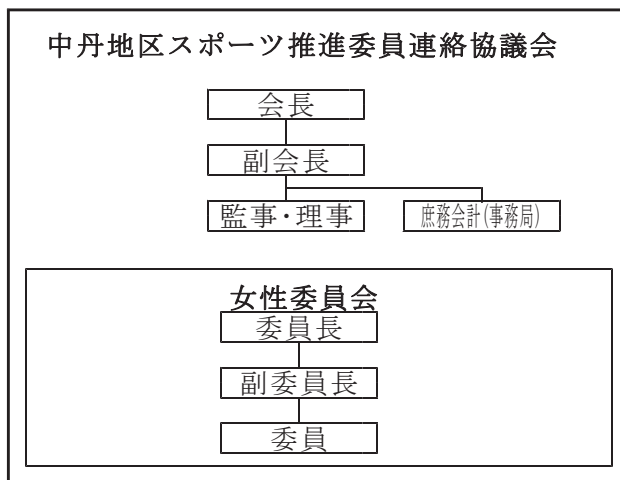
## 【沿革】

S36. 7	中丹ブロック社会体育指導者連絡協議会が発足【綾部市・福知山市・舞鶴市・大江町・三和町・夜久野町】	H 9. 6. 15	第30回京都府体育指導委員研究大会〈京都府中丹文化会館〉
S37	スポーツ振興法の制定に伴い、中丹ブロック体育指導委員連絡協議会に改称	H17. 6. 19	第38回京都府体育指導委員研究大会〈舞鶴市中総合会館〉
H元. 5. 28	第22回京都府体育指導委員研究大会〈東舞鶴体育館〉	H18. 1. 1	中丹地区体育指導委員連絡協議会【綾部市・福知山市・舞鶴市】 ※大江町・三和町・夜久野町が福知山市に編入
H 7. 2. 3 ～2. 4	平成6年度近畿体育指導委員研究協議会〈舞鶴市総合文化会館〉 ※阪神・淡路大震災の影響により中止	H23. 6. 18	第44回京都府体育指導委員研究大会〈福知山市三段池公園〉
		H24. 4. 1	スポーツ基本法の制定に伴い、中丹地区スポーツ推進委員連絡協議会に改称

## 【組織】

### [組織図]

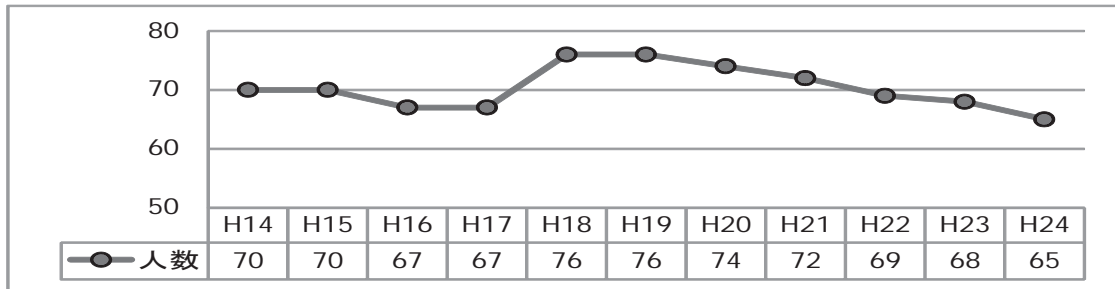
中丹地区スポーツ推進委員連絡協議会は、京都府中丹教育局管内のスポーツ推進委員（綾部市スポーツ推進委員連絡協議会・福知山市スポーツ推進委員会・舞鶴市スポーツ推進委員協議会）をもって組織し、事務局を京都府中丹教育局におく。



### [役員名簿]

役職名	氏名	所属
会長	入江 一郎	福知山市
副会長	村川 正弘	舞鶴市
監事	滝下 香代子	綾部市
監事	寺川 慎治	福知山市
理事	渡辺 弘造	綾部市
理事	上原 あゆみ	綾部市
理事	井関 雅子	福知山市
理事	藤村 保夫	舞鶴市
理事	西村 あおい	舞鶴市
庶務会計(事務局)	山田 智栄美	京都府中丹教育局

[スポーツ推進委員数の推移（過去10年）]



【歴代会長】

年度	氏名	所属
S 36	新国 貞三	舞鶴市
S 37	新国 貞三	舞鶴市
S 38	新国 貞三	舞鶴市
S 39	新国 貞三	舞鶴市
S 40	新国 貞三	舞鶴市
S 41	芦田 巖	福知山市
S 42	松尾 諭	綾部市
S 43	新国 貞三	舞鶴市
S 44	新国 貞三	舞鶴市
S 45	高橋 昭治	福知山市
S 46	高橋 昭治	福知山市
S 47	中川 満治	夜久野町
S 48	中川 満治	夜久野町
S 49	高橋 昭治	福知山市
S 50	高橋 昭治	福知山市
S 51	高橋 昭治	福知山市
S 52	高橋 昭治	福知山市
S 53	高橋 昭治	福知山市

年度	氏名	所属
S 54	高橋 昭治	福知山市
S 55	高橋 昭治	福知山市
S 56	高橋 昭治	福知山市
S 57	高橋 昭治	福知山市
S 58	高橋 昭治	福知山市
\$59.7まで	高橋昭治	福知山市
\$59.8から	岡部一郎	三和町
S 60	岡部 一郎	三和町
S 61	岡部 一郎	三和町
S 62	岡部 一郎	三和町
S 63	岡部 一郎	三和町
H元	岡部 一郎	三和町
H 2	櫻井 裕	舞鶴市
H 3	櫻井 裕	舞鶴市
H 4	櫻井 裕	舞鶴市
H 5	櫻井 裕	舞鶴市
H 6	櫻井 裕	舞鶴市
H 7	櫻井 裕	舞鶴市

年度	氏名	所属
H 8	野間 暉生	綾部市
H 9	野間 暉生	綾部市
H10	松井 博孝	福知山市
H11	松井 博孝	福知山市
H12	堀 義一	舞鶴市
H13	堀 義一	舞鶴市
H14	林田 順一	綾部市
H15	林田 順一	綾部市
H16	中村 善昭	三和町
H17	中村 善昭	三和町
H18	原田とよ子	福知山市
H19	原田とよ子	福知山市
H20	村川 正弘	舞鶴市
H21	村川 正弘	舞鶴市
H22	滝下香代子	綾部市
H23	滝下香代子	綾部市
H24	入江 一郎	福知山市

【事業内容】

- 1 理事会（年間2回）
- 2 女性委員会
- 3 中丹地区スポーツ推進委員研修会
- 4 中丹地区女性スポーツ推進委員の集い
- 5 管外研修（近畿スポーツ推進委員研究協議会）
- 6 関連事業：京都府スポーツ推進委員研究大会



【今後の取組（展望）】

近年、住民のスポーツへの関心が高まり、スポーツ推進委員の任務が一層重要になってきている。中丹地区のスポーツ推進委員がさらなる資質の向上と相互の交流を図ることができるよう、スポーツ基本法の理念を踏まえながら今後の活動を充実させたい。

## — 丹後スポーツ推進委員連絡協議会 —

### 【会長挨拶】 吉岡 毅



丹後スポーツ推進委員連絡協議会は、丹後地方におけるスポーツ推進委員相互の連携を密にし、社会体育の振興発展に資するために設立された、丹後教育局管内の2市2町からなる連絡協議会です。スポーツ推進委員の資質向上のために毎年研修会を行っています。また、平成22年度には京都府体育指導委員研究大会を実施し、平成25年3月には近畿スポーツ推進委員研究協議会の実施を予定しています。

### 【沿革】

- 平成16年4月1日 丹後体育指導委員連絡協議会設立（2市4町体制）  
平成18年3月1日 与謝郡3町（加悦町、野田川町、岩滝町）新設合併により与謝野町設置（2市2町体制）  
平成24年3月22日 丹後スポーツ推進委員連絡協議会に名称変更

### 【組織】

#### [組織図]



#### [役員名簿]

会長	吉岡 毅	(京丹後市)	※理事の互選により選出
副会長	松岡 照幸	(宮津市)	※理事の互選により選出
理事	松岡 照幸	(宮津市)	
理事	吉岡 毅	(京丹後市)	
理事	田崎 仁志	(京丹後市)	
理事	近藤 浩司	(京丹後市)	
理事	石倉 直道	(伊根町)	
理事	奥仲 輝雄	(与謝野町)	
理事	森田 美砂子	(宮津市)	※女性委員
理事	稲本 美智子	(京丹後市)	※女性委員
監事	梅本 稔博	(京丹後市)	
監事	三野 成彦	(伊根町)	



## [スポーツ推進委員数の推移（過去8年）]

	男性	女性	合計
平成17年度	69	39	108
平成18年度	65	40	105
平成19年度	68	41	109
平成20年度	65	37	102
平成21年度	65	38	103
平成22年度	61	39	100
平成23年度	63	40	103
平成24年度	62	40	102

### 【歴代会長（委員長、幹事長）】

平成16年度～平成17年度	和田 正（野田川町）
平成18年度～平成19年度	山本 廣治（京丹後市）
平成20年度～平成21年度	桐村 憲昭（宮津市）
平成22年度～現在	吉岡 毅（京丹後市）

### 【事業内容】

京都府スポーツ推進委員協議会 地区別事業 丹後ブロック

年度	日程	事業区分	内 容	会 場
H16	10.26	実技講習会	ファミリーバドミントン・きばれー	京丹後市大宮社会体育館
	2.14	講演	救命講習会	宮津市中央公民館
	3.9	講演	ストレッチ講習会	京丹後市弥栄地域公民館
H17	9.15	実技講習会	ファミリーバドミントン・きばれー	京丹後市大宮社会体育館
	2.23	実技講習会	エアロビクス	伊根町コミュニティーセンター
	2.24	講演	総合型地域スポーツクラブ講演会	アミティ丹後
H18	9.24	実技講習会	ターゲットバードゴルフ	ログバードの森
	2.23	講演	キネシオテープ講習会	アグリセンター大宮
H19	9.22	実技講習会	ファミリーバドミントン ビーチボールバレー	宮津市民体育館
H20	9.20	実技講習会	キンボール きばれえ	網野中学校体育館
H21	9.26	講演	スポーツドクターから学ぶ	生涯学習センター「知遊館」
H22	9.24	実技講習会	フラッグフットボール	大宮社会体育館
H23	9.22	実技講習会	ディスコン	ディスコン
			卓球バレー	卓球バレー
H24	9.21	実技講習会	ビーチボールバレー	ビーチボールバレー

### 【今後の取組（展望）】

丹後地域の各市町関係機関や関係団体と連携・協力しながら、スポーツの振興・普及（発展）に努めます。

# —北区スポーツ推進委員会—

## 【幹事長挨拶】 藤井 博志



京都府スポーツ推進委員協議会が設立 50 周年を迎えられますことを、心からお祝い申し上げます。

私が活動の拠点にしている北区は、世界遺産に登録された社寺のほか、緑豊かな自然に恵まれた環境の中に 4 つの大学が集まっており、地元の人達と学生とスポーツや文化交流が盛んな地域です。

北区スポーツ推進委員会は、昭和 29 年に 10 学区でスタートしましたが当時の行政区は上京区でした。翌昭和 30 年に上京区から分区し、北区の名のもと 5 学区が増え、現在では 18 学区、44 名で活動しています。

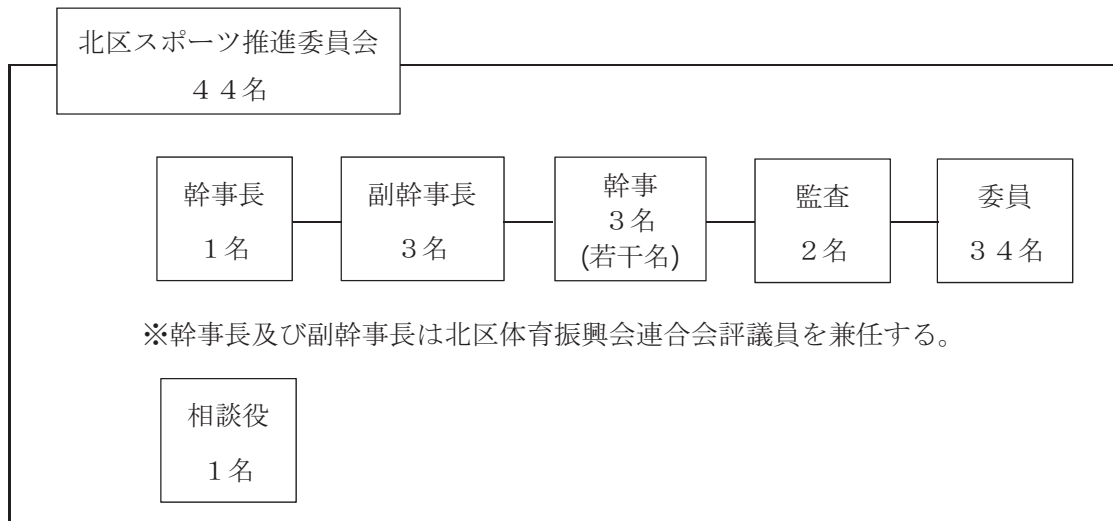
私たちスポーツ推進委員は、区民の方々が生涯にわたりスポーツを通じて心身ともに健康で豊かな生活を営み、精神的な充実感を味わうことが出来るよう、地域スポーツ振興の推進者として区体育振興会連合会・区役所等が主催するスポーツイベントへ積極的に参画しており、地域におけるスポーツ振興の要となっています。

また、区民の親睦と交流を深める目的で開催されている北区民ふれあいまつりをはじめとしたイベント等にも積極的に参画し、スポーツ振興のみならず地域の活性化にも貢献しています。

これからも北区スポーツ推進委員会は、区民スポーツの普及・振興に寄与し、地域でのスポーツ・レクリエーション活動等の推進に努めてまいります。

## 【組織】

### [組織図]



### [役員名簿]

幹事長	藤井 博志			
副幹事長	岡本 日吉	岸本 邦夫	藤本 登志子	
幹事	谷内 輝美	滝口 美津子	森本 明美	
監査	稲田 好造	井上 隆治		
相談役	牧野 正俊			

## [スポーツ推進委員数の推移（過去10年）]

（各年4月1日現在）

	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15
委員数	44	41	42	46	44	49	49	50	50	52

## [歴代幹事長]

昭和45年～昭和46年度 石井 幸次  
 昭和47年～平成7年度 黒田 清太郎  
 平成8年～平成13年度 大熊 朋二  
 平成14年～現在 藤井 博志

※昭和45年度以前は不明

## [事業内容]

北区スポーツ推進委員会は、地域団体、関係諸機関等と連携のもと北区体育振興会連合会・北区役所が主催する各種（グラウンド・ゴルフ、ソフトボール、バレーボール、卓球、ボーリング）大会に於いて、運営の中心的な役割を担っています。



さらに、ふれあい金魚とり大会等の北区民ふれあいまつりのイベントにも積極的に参画しています。



また、必要に応じ各種競技の審判講習会等を開催し、委員の資質向上を図ることで、地域でのスポーツ・レクリエーション活動の推進に努めています。



## [今後の取組（展望）]

北区の更なるスポーツ推進のため、体育振興会連合会と連携し、次の取組を行います。

- （1）スポーツをしない（できない）状況の人たちがひとりでも多く参加できるよう、気軽に参加できるプログラムづくりなどを進めます。
- （2）スポーツ教室や活動場所に関する情報が必要な人に適切に届くよう、効果的な情報提供サービスの方法について検討します。
- （3）全国的なスポーツ推進委員数の減少状況を踏まえ、スポーツボランティアの意義や魅力などスポーツを支えるスポーツ推進委員活動の必要性をアピールするとともに、人材の発掘及び育成に努めます。
- （4）北区民ふれあいまつり等のイベント参画を通して、地域の学生や青少年の活動施設等諸団体との交流を図ると共に、地域に根ざした活動を推進します。

## —上京区スポーツ推進委員会—

### 【幹事長挨拶】 世木 雅啓



京都府スポーツ推進委員協議会が創立 50 周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。

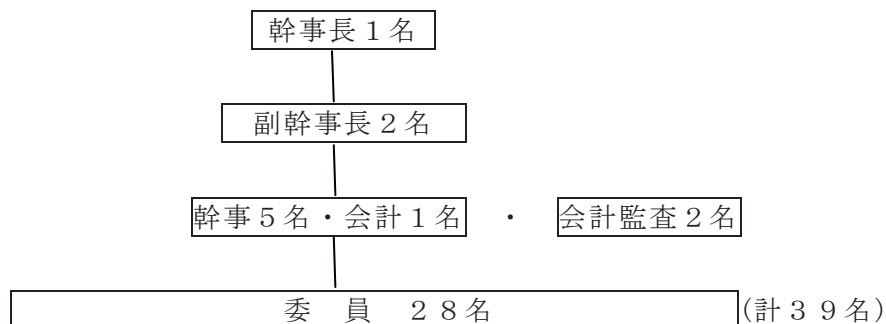
各地域で日々熱心な事業を行っておられる各スポーツ推進委員会の皆様を範とし、また、ともに地域の生涯スポーツを担う仲間として手を携え、わたしども上京区スポーツ推進委員会も成長してまいりたいと存じます。

### 【沿革】

- 平成 5 年度 上京区体育指導委員会 設立  
 (上京区社会体育指導員、上京区市民スポーツ婦人普及員を統合)
- 平成 23 年度 上京区スポーツ推進委員会に名称変更

### 【組織】

#### [組織図]



#### [役員名簿]

幹事長 世木 雅啓  
 副幹事長 小嶋 公子 長谷川春雄  
 幹事 磯川 博史 山田喜久雄 岡本智恵子 鈴木 容子 大石 宜男  
 会計 高橋 政子  
 会計監査 栃下 幸枝 田中 義仁

#### [スポーツ推進委員数の推移 (過去 10 年)]

年度	男性	女性	計	年度	男性	女性	計
15	30名	12名	42名	20	25名	16名	41名
16	27名	14名	41名	21	25名	16名	41名
17	28名	13名	41名	22	25名	17名	42名
18	31名	13名	44名	23	25名	17名	42名
19	31名	13名	44名	24	24名	15名	39名

## 【歴代会長幹事長】

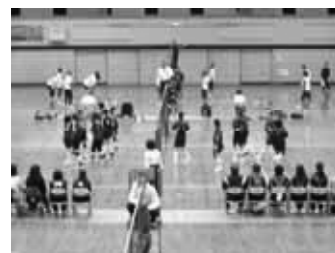
平成 3～4年度	指導委員	岩崎 靖信	北村 好雄
	普及委員	河井 治美	本郷 睦代
平成 5～19年度	岩崎 靖信		
平成 20～現在	世木 雅啓		

※平成3年度以降を掲載

## 【事業内容】

上京区スポーツ推進委員会は、上京区在住の京都市スポーツ推進委員（17学区39名）により構成し、上京区体育振興会連合会が実施する各種スポーツ大会の運営に参画するとともに、地元学区においては、地域に密着した学区民運動会や各種ふれあい事業の中核として活躍しています。

また、各種競技運営のプロとして、日々更新されるルールに対応し、より厳正かつ適切なジャッジを期するため、適宜講習、研修活動を行っています。



## 【今後の取組（展望）】

上京区では体育振興会連合会を中心とし、地域活性化はまず人の絆からとして、子供さんからお年寄りまで、各年代が参加できる生涯スポーツの充実に努めています。わたしどもスポーツ推進委員はその重要な担い手という自負を持ち、日々各種事業に取り組んでいます。

職業をもちつつボランティア活動を行うことは、やはり一定の困難を伴いますが、今後とも地域の皆様が健やかに過ごせるよう、次代を背負うスポーツ推進委員の育成に努めてまいります。

# －左京区スポーツ推進委員会－

## 【幹事長挨拶】 福原 隆平



京都府スポーツ推進委員協議会の設立 50 周年を迎え、同協議会の設立以来、現在に至るまで地域スポーツの振興に営々と努力を積み重ねてこられました諸先輩方に、改めて敬意を表します。

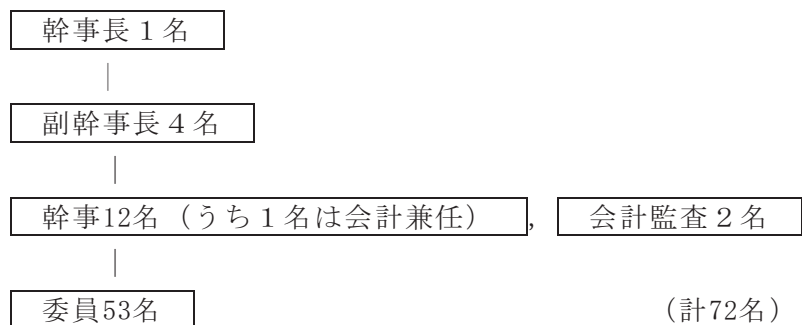
左京区スポーツ推進委員会と致しましても、諸先輩方が築き上げてこられた基盤になお一層の努力を積み上げ、地域スポーツの更なる活性化に邁進しなければと決意を新たにしているところでございます。

## 【沿革】

- 平成 5 年度 左京区体育指導委員会 設立  
(従来の左京区社会体育指導員・左京区市民スポーツ婦人普及員を統合)
- 平成 23 年度 左京区スポーツ推進委員会に名称変更

## 【組織】

### [組織図]



### [役員名簿]

幹事長	福原	隆平			
副幹事長	野村	幸子	木村	富美恵	井上 保 安保 洋一
幹事	坂岡	千文	島津	幸夫	岸根喜三郎 村地 愛子
	沢田	英子	大塚	晴久	北川 初江 西脇 正博
	粉川	喜和	日比	淳一	堀 治樹 中坊市次郎

### [スポーツ推進委員数の推移 (過去 10 年)]

平成 14 年度	73 名	平成 19 年度	74 名
平成 15 年度	72 名	平成 20 年度	74 名
平成 16 年度	77 名	平成 21 年度	73 名
平成 17 年度	78 名	平成 22 年度	67 名
平成 18 年度	73 名	平成 23 年度	67 名

## 【歴代幹事長】

平成5～11年度 杉原 幸雄  
平成12～17年度 伊藤 快宏  
平成18～23年度 畦崎 輝義

※平成5年度（左京区体育指導委員会設立）以降を掲載

## 【事業内容】

現在、左京区スポーツ推進委員会は、28の学区から推薦された計72名で構成しており、主な事業内容は、京都市並びに左京区のスポーツ大会等の審判のほか、競技運営や進行補助を行っています。

また、個々のスポーツ推進委員は、地元の学区体育振興会において、地域に根差した行事やクラブ活動を中心に地域スポーツの活性化を図り、地域住民の交流を進めています。

### スポーツ事業での活動例



判定をめぐって熱くなる選手もいますが、審判として冷静に対応します。



試合の合間にラインを引き直し、グラウンドを整備します。



素晴らしい試合に、競技運営者としてスポーツに関わる喜びを感じます。



公正で、正確かつ迅速な審判を心掛けています。



決勝を前に、トロフィーや賞状を準備します。



スポーツに勝敗はつきもの。選手の健闘を称え、成績発表を行います。

## 【今後の展望】

地域スポーツの更なる活性化のため、左京区全体でのスポーツ大会や行事をもっと増やすことができないかと、左京区体育振興会連合会とともに模索しています。

また、学区体育振興会においては、地域の特徴を生かした行事やクラブ活動に取り組みたいと考えています。

# —中京区スポーツ推進委員会—

## 【幹事長挨拶】



中嶋 丈介

中京区は、昭和4年4月、上京区の南部、下京区の北部を区域として誕生し、平成21年度で80周年を迎えました。京都市のほぼ中央に位置し、人口は106,808人、面積は7.38km<sup>2</sup>となっており、京都においては最も人口密度が高い地域です。区内には、官公庁、政治・経済団体、金融機関、商店などが集中し、観光・娯楽・ショッピングなどで賑わうとともに、京都の三大祭といわれる祇園祭の山鉦巡行や時代祭行列など、京都の歴史と伝統にあふれ、町衆の心意気が今に伝わる“まち”であります。

我々中京区スポーツ推進委員会は、中京区23学区から選出された51名で活動しており、日頃から市民スポーツの普及・振興に努めています。スポーツを通じて、区民の一人ひとりの絆を深め、地域の人々の健全な心身の育成とスポーツの持つ楽しさを再認識してもらうことを念頭に、各種大会やイベントにおいて運営や指導にあたっております。

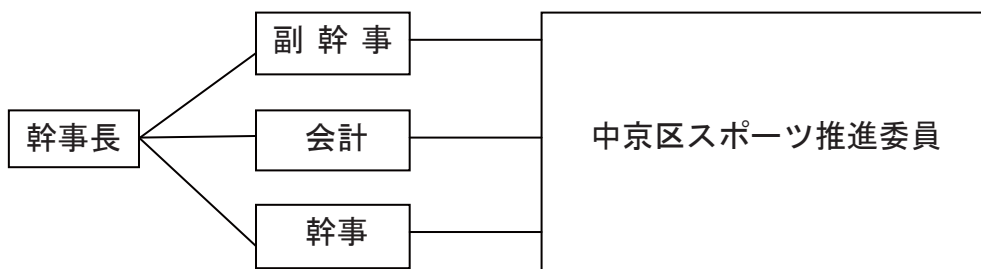
## 【沿革】

- 昭和39年 京都市社会体育指導委員協議会が創設されたことに伴い、  
中京区社会体育指導委員協議会設立
- 平成5年 中京区社会体育指導委員協議会を廃止し、中京区体育指導委員会設立
- 平成24年 中京区スポーツ推進委員会に名称変更

## 【組織】

平成24年度は区内23学区より選出された51名のスポーツ推進委員で中京区スポーツ推進委員会を組織し、その中から幹事長、副幹事長、会計及び幹事を選出し、幹事会を定期的に行い、主に各種スポーツ大会における業務分担や試合進行をはじめに円滑な運営に努めています。

## 【組織図】



## 【役員名簿】

幹事長	中嶋 丈介	会計	和多田 善夫	監査	岡本 喜雅
副幹事長	山下 勝代	幹事	堀 明美		
副幹事長	岩堀 耕二		矢瀧 誠		
副幹事長	西村 勝嘉		北川 こま		
副幹事長	猪田 俊司		國枝 ゆう子		



## 【スポーツ推進委員数の推移（過去10年）】

この10年間ではほぼ50名程度の推進委員で活動しており、特に今年は12名の新人が入り、幅広い年齢層で活動しています。（定数56名）

## 【歴代幹事長】

平成 4年～平成17年度 小林 清和

平成18年～平成21年度 松本 賢逸

平成22年～平成24年度 中嶋 丈介

## 【事業内容】

中京区では、ソフトボール大会、バレーボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、ボウリング大会及び卓球大会を開催しており大会の運営に係る業務、競技における審判等を行っております。

特にソフトボール及びバレーボールは、大会の前に審判講習会を行い、大会当日に向けて公正なジャッジができるよう審判技術の向上に日々努めています。

また、相互の理解を深めるために、年に一度中京区スポーツ推進委員会と中京区体育振興会連合会で合同研修会を行っております。今年は外部から講師を呼び、テーピング講習会を開催しました。

ソフトボール大会（H24.5.8）



バレーボール大会（H24.6.26）



合同研修会（H24.8.5）



## 【今後の取組（展望）】

中高年層（45歳以上）の人口が増えていることから、ボウリング、卓球、グラウンド・ゴルフなどの誰もが親しめるスポーツにより力を入れ、レベル向上とともに、健康づくり、体力づくり、スポーツ（ウォーキング、ニュースポーツ等）の普及活動並びに関連する事業のさらなる発展に向けた取り組みに努めていきたいと思っております。

# —東山区スポーツ推進委員会—

## 【幹事長挨拶】 安藤 美佐子



東山区は、豊かな自然環境とともに、数多くの社寺が集積し、世界の人々を魅了する伝統と文化を今に伝えるまちです。

また、人口約4万人を擁する東山区は、都市部にありながら、少子高齢化の進展も著しく、各世代の多様なスポーツニーズに応じた取組が不可欠となっています。

このため、区内11学区24名のスポーツ推進委員は、早くからニュースポーツの普及に取り組むなど、地域に根ざした活動を行ってまいりました。これからもスポーツを通じて区民がいきいきと暮らせるまちを目指して、スポーツ推進委員一丸となって取り組んでまいります。

## 【沿革】

1993年（平成5年） 4月8日 東山区体育指導員会 設立  
（社会体育指導員「S33～H4」と婦人普及員「S59～H4」を一元化）

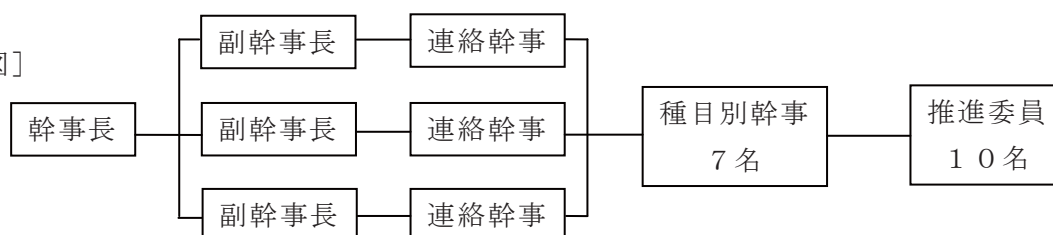
2011年（平成23年）8月25日 スポーツ推進委員に名称が変更  
9月 8日 スポーツ推進委員会に名称が変更

1. 人口 40,104人（男16,892／女23,212） 高齢化率32,0%
2. 世帯数 21,068世帯
3. 面積 7.46km<sup>2</sup>
4. 構成 24名 男16名（66%）／女8名（33%）
5. 任期 2年（各小学校区体育振興会会長の推薦により選出）
6. 平均年齢 55.2歳 / 平均勤続 11.5年

（平成24年4月現在）

## 【組織】

[組織図]



[役員名簿]

幹事長 安藤 美佐子  
副幹事長 山内 眞矛  
副幹事長 清水 達也  
副幹事長 小森 敦子  
連絡幹事 3名  
種目別幹事 7名・推進員10名

[スポーツ推進委員数の推移（過去10年）]

平成14年～16年	27名
平成17年～19年	28名
平成20年	27名
平成21年	26名
平成22年～24年	24名

## 【歴代幹事長】

昭和52年～58年度	代表幹事	木村 隆一（六原学区）・寺沢 喜平（新道学区）
昭和59年～平成元年	代表幹事	木村 隆一（六原学区）・木本 匡（有济学区）
平成2年～平成4年度	代表幹事	木本 匡（有济学区）・田村 義弘（一橋学区）
平成5年～平成7年度	代表委員	田村 義弘（一橋学区）・菊池 良雄（六原学区）
平成8年～平成21年度	幹事長	菊池 良雄（六原学区）
平成22年～平成24年度	幹事長	安藤 美佐子（今熊野学区）

## 【事業内容】

[体育振興会連合会主催・スポーツ推進委員会主管事業（本部運営・審判等）]



《ソフトボール大会 6月》



《バレーボール大会 7月》



《ボウリング大会 3月》



「グラウンド・ゴルフ」



「ペタンク」



「ソフトバレーボール」

《ニュースポーツフェスティバル 11月》

各大会前には、要項検討委員会、監督会議、審判講習会を開催し安全で円滑な大会運営に努めている。また、年3回の幹事会や救急救命講習会、他行政区との交流会を主催するなど親睦を深めている。他に、老若男女が参加できる生涯スポーツ講習会の開催、京都市主催事業への協力や体育振興会連合会の理事会・総会にも積極的に参画している。



《4区交流会》



《普通救命講習》



《生涯スポーツ講習会》

## 【今後の取組（展望）】

- (1) 区民のスポーツ参加率の向上のため地域に根ざした活動を進めます。
- (2) 区民のスポーツ活動の促進のため組織・若手の育成を図ります。
- (3) 区民のスポーツ振興のための指導・助言を行います。

## —山科区スポーツ推進委員会—

### 【幹事長挨拶】 原島 源一



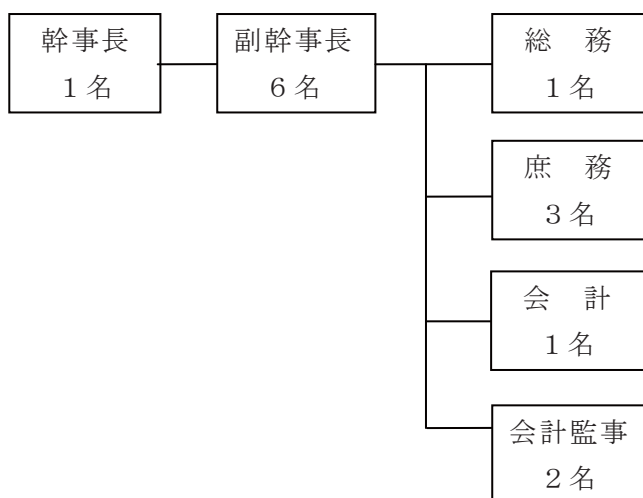
山科区のスポーツ推進委員は、現在、区内13学区で49名が活動を行っています。ソフトボールやバレーボールをはじめとする各種区民大会等の運営及び、各種競技の審判技術の向上を目的とした講習会や研修会等を実施しています。また、各学区において、学区民体育祭やスポーツ大会、各種イベントの企画運営等の役割を担うとともに、地域スポーツの振興及びスポーツを通じた地域の発展に努めています。

### 【沿革】

昭和51年 東山区から分区（京都市社会体育指導員，京都市市民スポーツ婦人普及員）  
平成5年 法改正により山科区体育指導委員制度へ移行  
平成23年 法改正により山科区スポーツ推進委員に名称変更

### 【組織】

#### 〔組織図〕



#### 〔役員名簿〕

幹事長	原島 源一			
副幹事長	和田 孝雄	伊東 律子	金澤 正和，	
	高田 弘幸	熊谷 元雄	和田久仁夫	
総務	宮田 令子			
庶務	宮原 真弓	三宅 孝子	宇田ゆき江	
会計	佐賀 明美			
会計監事	溝井 和広	宇田ゆき江		

### [スポーツ推進委員数の推移（過去10年）]

平成15年度～平成19年度	50名
平成20年度～平成21年度	49名
平成22年度	48名
平成23年度	47名
平成24年度	49名

### 【歴代会長幹事長】 ※山科区体育指導委員制度移行後

平成 5年度～平成15年度	宮川 重和
平成16年度～平成19年度	船口 三郎
平成20年度～	原島 源一

### 【事業内容】

- (1) 山科区体育振興会連合会主催の各種区民大会の運営
- (2) 京都市体育振興会連合会主催の各種市民大会の運営
- (3) ふれあい“やましな”区民まつりの従事

### 【今後の取組（展望）】

元気な老後を送りたいと願っておられる高齢者の皆様や、クラブチームとは一味違う楽しめるスポーツをしたい子どもたちに、何か面白みのある経験、体験をしていただく取組をしていきます。

また、このような取組を、まずは学区単位でスタートさせ、山科区全域に、ひいては京都市全域に広めていきたいと考えています。

## 一 下京区スポーツ推進委員会 一

### 【幹事長挨拶】 小川原 繁



京都市の都心部にある下京区には、四条通りをはじめとする商業集積地や京都の玄関口である京都駅の他、東・西本願寺や梅小路公園などの魅力ある施設等が集まり、また、開館半年あまりで来館者 200 万人を超えた京都水族館などにより、活気に満ち溢れています。

一方で、共同住宅の増加に伴う地域コミュニティの希薄化が懸念される中、スポーツ活動を通じた地域コミュニティづくりが重要となっています。

昭和 33 年設立の下京区社会体育指導員会から半世紀を超える活動を続けている下京区スポーツ推進委員会では、区内 23 学区 46 名の委員が、下京区体育振興会連合会と連携し、グラウンドゴルフはじめ様々な市民スポーツの普及・振興に取り組むなど、地域に根ざした活動を積極的に行っています。

これからも、スポーツを通じて区民がいきいきと暮らせるコミュニティ溢れるまちづくりを、スポーツ推進委員一丸となって取り組んでまいります。

### 【沿革】

- 1958年（昭和33年） 下京区社会体育指導員会の設立
- 1994年（昭和59年） 下京区市民スポーツ婦人普及員会の設立
- 1993年（平成5年） 下京区体育指導委員会の設立  
※スポーツ振興法に基づく、京都市体育指導委員制度発足  
（社会体育指導員と市民スポーツ婦人普及員の一元化）
- 2012年（平成24年） 下京区スポーツ推進委員会へ名称変更  
※スポーツ基本法により、体育指導委員がスポーツ推進委員と改められたため

- 1 構成 46名 男40名（87%）／女6名（13%）
- 2 任期 2年（各元小学校区体育振興会会長の推薦により選出）
- 3 平均年齢 51.2歳 / 平均勤続 10.4

### 【構成】

（平成24年4月現在）

	男性	女性	合計
人数（名）	40名	6名	46名
平均年齢（歳）	50.6才	54.8才	51.2才

役員	幹事長 1名	副幹事長 4名	幹事 6名
	会計 1名	会計監査 2名	

## [役員名簿]

幹事長	小川原 繁			
筆頭副幹事長	吉田 享司			
副幹事長	浅田 英子	樋口 唯志	西村 孝司	
会計	新家 博文			
幹事	藤谷 芳史	河村 英樹	横山 浩二	
	勝岡 英雄	石通 裕司	廣川 直也	

## 【事業内容】

スポーツ推進委員会が運営するスポーツ大会（主催：体育振興会連合会）



「グラウンド・ゴルフ大会」



「ソフトボール大会」



「少年野球大会」



「卓球大会」



「ソフトバレーボール」



「バレーボール大会」

各大会前には、監督会議を開催し安全で円滑な大会運営に努めている。

また、下京地域体育館で開催されている老若男女が参加できる『生涯スポーツ講習会』をはじめとする京都市主催事業への協力や体育振興会連合会の理事会・総会にも積極的に参画している。

## 【今後の取組（展望）】

- 1 区民の健康促進のため地域に根ざした活動を進めます。
- 2 区民のスポーツ活動の促進のため、地域の若い人材の育成を図ります。
- 3 区民のスポーツ振興のための指導・助言を行います。

## －南区スポーツ推進委員会－

### 【幹事長挨拶】 中路 雅之

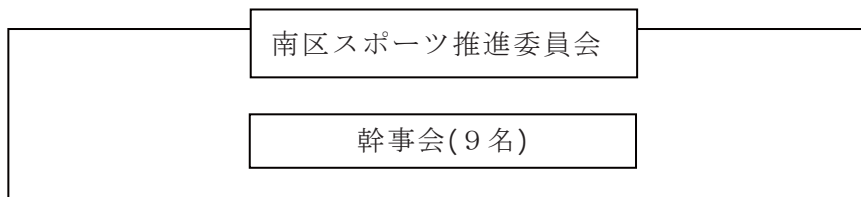


スポーツ推進委員相互の連絡調整や資質の向上を図り、市民スポーツの普及・振興に寄与することを目的に、南区スポーツ推進委員会が組織されています。現在 36 名のスポーツ推進委員が、南区体育振興会連合会・南区役所が主催する区民大会等の事業を運営し、その遂行に大きな役割を果たしています。また、近年ではニュースポーツなど幅広い世代が楽しめるスポーツの普及発展を目指し、研修会を開催するなど、住民のスポーツ参加への窓口としての役割を担っています。

### 【組織】

スポーツ推進委員相互の連絡調整や資質の向上を図り、市民スポーツの普及・振興に寄与することを目的に、南区スポーツ推進委員会が組織されています。現在、南区では、15 学区から選出された 36 名のスポーツ推進委員が活動しています。

### 〔組織図〕



### 〔スポーツ推進委員数の推移（過去 10 年）〕

年度	男性	女性	合計
平成 15 年	25 人	18 人	43 人
平成 16 年	22 人	18 人	40 人
平成 17 年	22 人	18 人	40 人
平成 18 年	23 人	18 人	41 人
平成 19 年	22 人	18 人	40 人
平成 20 年	22 人	16 人	38 人
平成 21 年	22 人	16 人	38 人
平成 22 年	24 人	13 人	37 人
平成 23 年	24 人	13 人	37 人
平成 24 年	22 人	14 人	36 人



## 【役員名簿】（平成24年10月現在）

幹事長	中路 雅之				
副幹事長	福井 和代	園美 津雄	砂原 啓二	那須 勉	
会計	中村 正樹				
幹事	渡邊 眞志	西 晃子	水野 久		

## 【歴代幹事長】

昭和53年度～昭和61年度	植村 基
昭和61年度～昭和62年度	高橋 幸三
昭和63年度～平成23年度	道下 善一
平成24年度～	中路 雅之

※昭和52年度以前は不明

## 【事業内容】

南区スポーツ推進委員会は、南区体育振興会連合会・南区役所が主催する区民大会等の事業を運営し、その遂行に大きな役割を果たしています。また、各種競技の審判技術の向上を目的とした講習会や研修会等を実施するなど、日々委員の技術の研鑽に努めています。

### 「南区民5大会」の運営



南区では、年間を通して、体育振興会連合会・区役所主催の5大会(壮年ソフトボール、一般ソフトボール、バレーボール、ボウリング、卓球)が開催されています。スポーツ推進委員が中心となり、当日の審判・会場設営をはじめ、大会全体の運営を行っています。

### 講習会・研修会の開催

各種競技の審判技術の向上を目指し、ソフトボール、バレーボール、卓球については審判資格者を招いて講習会を開催しています。また、近年では「グラウンド・ゴルフ」「ペタンク」の研修会を実施し、ニュースポーツの普及に努めています。



## 【今後の取組（展望）】

- 1 市民のスポーツ活動への参加促進
- 2 個人スポーツの普及
- 3 スポーツ推進委員の確保・育成
- 4 スポーツ推進委員間の繋がり強化

# －右京区スポーツ推進委員会－

## 【幹事長挨拶】 安嶋 一晃



右京区スポーツ推進委員会は、京都市スポーツ推進委員のうち右京区22学区から選出された総員76名で構成し、日頃から市民スポーツの普及・振興に努めています。

我々は、スポーツを通じて、区民の一人ひとりの絆を深め、地域の人々の健全な心身の育成とスポーツの持つ楽しさを再認識してもらうことを念頭に、各種大会やイベントにおいて運営や指導にあたっております。

昨年度は、右京区制80周年を記念して2つのニュースポーツ「ワンバウンド80」と「サークルショット80」を考案いたしました。これらのスポーツを地域に広めるとともに、我々全員が一丸となって右京スポーツをさらに盛り上げていきたいと考えています。

## 【沿革】

昭和39年 京都市社会体育指導員協議会が創設されたことに伴い、  
右京区社会体育指導員協議会設立

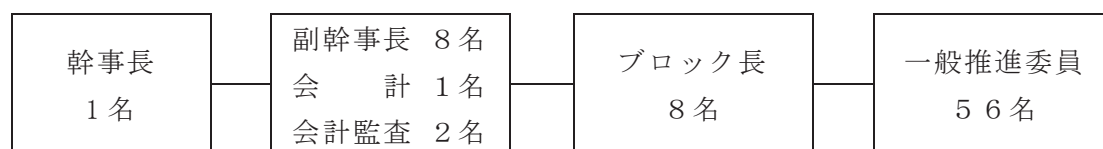
平成5年 右京区社会体育指導員協議会を廃止し、右京区体育指導委員会設立

平成24年 右京区スポーツ推進委員会に名称変更

## 【組織】

### [組織図]

総員76名（平成24年10月1日現在）



### [役員名簿]

幹事長	安嶋 一晃	(花園学区)	
副幹事長	上村 美千代	(葛野学区)	坂井 保 (京北学区)
	長藤 正道	(西京極学区)	日比野 定仁 (西院第一学区)
	松見 洋子	(花園学区)	森下 裕次 (太秦学区)
	山田 純子	(西院第一学区)	吉田 紀美子 (太秦学区)
会 計	白石 和枝	(西院第一学区)	

## 【スポーツ推進委員数の推移（過去10年）】

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
男性	37	36	42	42	42	43	43	44	44	43
女性	36	39	39	39	39	38	38	34	34	34
合計	73	75	81	81	81	81	81	78	78	77

※ 各年4月1日現在の人員

## 【歴代幹事長】

昭和45年	～ 昭和51年	桃井 繁造（花園学区）
昭和52年	～ 昭和56年	三木 徹（山ノ内学区）
昭和57年4月	～ 平成2年3月	谷 忠孝（花園学区）
平成2年4月	～ 平成8年3月	市橋 国男（北梅津学区）
平成8年4月	～ 平成15年5月	近藤 信行（梅津学区）
平成15年7月	～ 平成24年3月	田中 文博（安井学区）
平成24年4月	～	安嶋 一晃（花園学区）

## 【事業内容】

右京区スポーツ推進委員会は、右京区スポーツ推進委員相互の連絡調整及び委員の資質の向上を図り、市民スポーツの普及・振興に寄与することを目的として設立されました。

年間の主な事業といたしましては、京都市体育振興会・京都市スポーツ推進委員会主催の市民スポーツフェスティバルを始めとする各種スポーツ大会における審判・運営を行っております。

右京区内におきましては、以下に掲げる事業を右京区体育振興会連合会とともに開催しております。

### 【右京区スポーツ推進委員会の主な活動】

1月	卓球審判講習会、卓球大会
3月	親睦ニュースポーツ大会
5月	ソフトボール審判講習会
6月	ソフトボール大会、バレーボール審判講習会
7月	女子バレーボール大会
10月	グラウンドゴルフ大会
11月	オリエンテーリング

## 【今後の取組（展望）】

これまで培ってきたものを糧にさらなる飛躍を目指し、右京区スポーツと地域コミュニティの牽引役として「スポーツが作る健康まちづくり」の実現に向けて邁進していきます。

そして、右京区発信のニュースポーツ「ワンバウンド80」「サークルショット80」を右京区民へ、そして京都市全体へ広めていきたいと考えています。

# —西京区スポーツ推進委員会—

## 【幹事長挨拶】 川邊 昌伸



京都市西京区は、昭和 51 年 10 月右京区から分区し、誕生 37 年を迎える区です。分区当初は、人口 8 万 9 千人でスタートし、その後洛西ニュータウンなどの都市化が進み、現在は 15 万人を超える市内 4 番目に人口の多い行政区へと発展しました。西京区には、小学校区を中心にした 17 学区・地域に体育振興会、また、各体育振興会をまとめる西京区体育振興会連合会が組織されており、スポーツ推進委員会は体育振興会連合会と密接に連携をとりながら、各種スポーツイベントの開催と運営に携わり、区民の親睦と連帯を深め地域交流の中核を担っています。

## 【沿革】

- 昭和 51 年 右京区からの分区に伴い、西京区社会体育指導委員協議会設立  
平成 5 年 京都市体育指導委員制度発足に伴い、西京区体育指導委員会設立  
平成 23 年 スポーツ基本法改正に伴い、西京区スポーツ推進委員会に名称変更

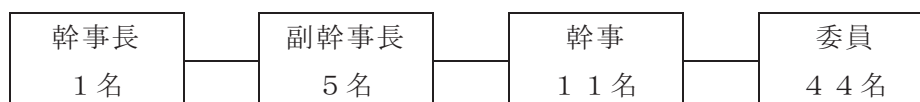
## 1 スポーツ推進委員の数 (統計情報はいずれも平成 24 年 10 月 1 日現在)

	男性	女性	合計
西京区役所（本所）管内	21	17	38
洛西支所管内	12	11	23
合計	33	28	61

- 2 平均年齢 52.8 歳  
3 任期 2 年  
4 総面積 59.2 km<sup>2</sup>  
5 総人口 152,470 人  
6 総世帯数 61,994 世帯

## 【組織】

### [組織図]



### [役員名簿]

- 幹事長 川邊 昌伸 (桂)  
副幹事長 田畑 麗子 (大原野) 久米川 能久 (福西) 佐藤 豊美 (檜原)  
佐藤 哲夫 (川岡東) 山口 義夫 (桂東)  
幹事 11 名

## [スポーツ推進委員数の推移（過去10年）]

年度		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
本所	男性	23	21	21	22	21	23	23	22	22	21
	女性	16	19	19	18	18	16	16	16	16	17
	計	39	40	40	40	39	39	39	38	38	38
支所	男性	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12
	女性	12	13	13	14	14	14	14	11	12	11
	計	24	26	25	26	26	26	26	23	24	23
総計		63	66	65	66	65	65	65	61	62	61
女性比率		44.4%	48.5%	49.2%	48.5%	49.2%	46.2%	46.2%	44.3%	45.2%	45.9%

### 【歴代幹事長】

昭和51年～昭和53年度 三浦 昭（松陽）  
 昭和54年～平成19年度 山下 正則（嵐山東）  
 平成20年～平成24年度 川邊 昌伸（桂）

### 【事業内容】

スポーツ推進委員会では、体育振興会連合会との連携のもと、毎年、一般・壮年・女子ソフトボール並びにバレーボール大会を始め各種大会、また、各学区・地域内においても各種大会の運営に携わり、住民が各種競技を通してより一層地域の交流が図られるよう努めています。また、平成12年度からは、お隣りの亀岡市との住民交流を目的に、ソフトバレーボール等で友好を深めています。



一般・壮年ソフトボール  
大会



バレーボール・  
ソフトバレーボール祭



卓球大会

### 【今後の展望】

地域スポーツの振興・発展並びに生涯スポーツの推進に寄与するため、各学区・地域体育振興会傘下のスポーツクラブの育成に努め、現在では180チーム2千5百人を超える方々がクラブ員として活動されています。今後に向けては、生涯学習・生涯スポーツが重要であると考え、そのためにスポーツクラブ育成と活性化に努め、だれもが、いつでも、どこでも楽しめる市民スポーツの普及振興を図り、地域住民が健康で健やかで、スポーツを通じて、ひととひととがつながっているまちづくりを目指し、より一層の取組みを進めていきたいと考えています。

## －伏見区スポーツ推進委員会－

### 【幹事長挨拶】 吉田 昌功



伏見区スポーツ推進委員会は、昭和 28 年に発足した「伏見区体育振興会連合会」とともに、車の両輪として、伏見区における区民の健康増進、体力の向上を図るとともに、明るい地域社会づくりに貢献してまいりました。

委員会の前身となる社会体育指導委員の諸先輩方の偉業を継承し、現在 83 名のスポーツ推進委員が伏見区内を中心に活動しております。

今後も、伏見区にお住いの 28 万人の方々に愛され、信頼されるスポーツ推進委員会を目指して、スポーツの振興、ひいては地域コミュニティの活性化に貢献してまいりたいと思います。

### 【沿革】

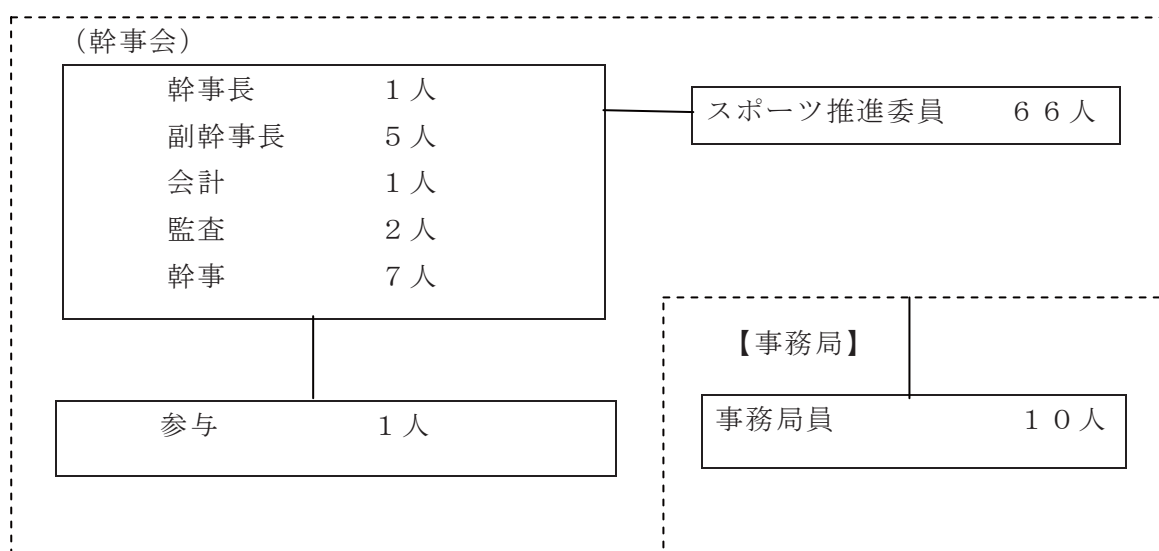
昭和 30 年代初期から社会体育指導員として伏見区を中心に活動を開始し、平成 5 年に、市民スポーツ婦人普及委員（昭和 59 年に発足）と統合され、体育指導委員制度が発足した。

伏見区の体育指導委員相互の連絡調整及び委員の資質の向上を図り、市民スポーツの普及・振興に寄与することを目的に伏見区体育指導委員会が設立され、平成 24 年からは、名称を伏見区スポーツ推進委員会に改称し現在に至る。

### 【組織】

#### 〔組織図〕

伏見区スポーツ推進委員会（平成 24 年 4 月 1 日現在）



## 【役員名簿】（平成24年4月1日現在）

幹事長 吉田 昌功（北醍醐）  
副幹事長 岡谷 陽子（稲荷） 山岸 正和（砂川） 村田 俊明（竹田）  
岡田 光則（納所） 中村 美枝子（日野）  
会 計 西村 信孝（醍醐）  
監 査 玉岩 英男（稲荷） 中嶋 了子（久我）  
幹 事 山田 加代子（藤森） 河野 藤男（桃山南） 河本 光子（横大路）  
西橋 絹子（向島） 藤田 剛（久我） 松尾 孝子（淀） 岡村 正一（淀南）

## 【スポーツ推進委員数の推移（過去10年）】

平成15年	92名	平成20年	90名
平成16年	79名	平成21年	93名
平成17年	79名	平成22年	87名
平成18年	86名	平成23年	87名
平成19年	83名	平成24年	83名

## 【歴代幹事長】

昭和35年度～昭和38年度 広瀬 治雄（板橋）  
昭和39年度～昭和44年度 堀 邦夫（南浜）  
昭和45年度～昭和58年度 豊田 豊司（桃山）  
昭和59年度～平成 元年度 谷口 吉春（住吉）  
平成 2年度～平成15年度 坂本 憲三（羽束師）  
平成16年度～平成24年度 吉田 昌功（北醍醐）

## 【事業内容】

- 1 各委員相互の連絡及び情報交換
- 2 スポーツ振興に関する諸問題の研究協議
- 3 区連合会事業の運営と審判講習会の実施
  - (1)ハイキング（4月上旬）
  - (2)ソフトボール大会（5月下旬）
  - (3)バレーボール大会（7、8月）
  - (4)グラウンドゴルフ大会（10月下旬）
  - (5)卓球大会（11月中旬）
  - (6)ボウリング大会（1月上旬）
- 4 市体振主催事業への参加（市民スポーツフェスティバル等）
- 5 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

## 【今後の取組（展望）】

- 1 スポーツ推進委員相互の連絡調整及び委員の資質向上
- 2 伏見区体育振興会連合会との連携強化
- 3 伏見区体育振興会連合会主催事業の運営を通じ、市民スポーツの普及・振興と健康増進に寄与

## －向日市スポーツ推進委員協議会－

### 【会長挨拶】 田賀 千恵



今年度、スポーツ推進委員と名称が変更された節目に原点に戻り、新たな気持ちで地域の中に、日常生活の中にスポーツが身近に感じられる社会を目指して12名の委員が力を合わせて活動していきたいと思っています。

### 【沿革】

向日市のスポーツ推進委員は、昭和36年に制定された「スポーツ振興法」において体育指導委員（当時）が法的に位置づけられたことを受け、昭和39年に設置された。

発足当時は委員8名であったが、文字通り本市のスポーツ振興の担い手として、献身的に活動されていた。

その後、活動内容や領域も広がり、また、昭和63年の国民体育大会や平成9年の全国高等学校体育大会が京都で開催されたこともあり、委員の数も最大21名の時もあったが、現在は12名となっている。

### 【組織】

向日市教育委員会（財団法人向日市スポーツ文化協会：協議会事務局）

会 長：1名

副会長：2名

会 計：1名

広報部：広報紙などの発行を担当

事業部：市民参加のイベントの企画・運営を担当

研修部：スキルアップを目的とした研修の企画・運営を担当



### [役員名簿]

会 長：田賀 千恵  
副会長：梅田 一美  
副会長：岩木 治  
会 計：森 泰代

### [スポーツ推進委員数の推移]

平成15年：17名	平成20年：14名
平成16年：16名	平成21年：12名
平成17年：15名	平成22年：14名
平成18年：14名	平成23年：13名
平成19年：14名	平成24年：12名

### 【歴代会長】

生嶋 嘉男 富田 一成 井上 孝男 中村 治夫 藤田 英夫

### 【事業内容】

- ・月1回 定例会議（第1木曜日）  
    研修会（ニュースポーツ研修・普通救命講習など）
- ・派遣事業（ストリートバスケット大会・向日市スポーツ交流フェア・スポーツのつどい・PTA 軽スポーツ交流大会など、スポーツに関する行事または事業に協力）
- ・Do スポーツ in 向日の開催（向日市まつりでニュースポーツを紹介）
- ・向日市ワイワイスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブへの協力）
- ・乙訓・府・近畿・全国スポーツ推進委員研修会への参加

### 【今後の取組（展望）】

市民のライフスタイルの変化により、スポーツニーズの多様化や生涯スポーツの重要性を踏まえ、魅力あるイベントを企画・実施することが必要であると考えています。

それには、私たちスポーツ推進委員だけでなく、地区体振やPTAなど、他の団体と連携しそれぞれの繋がりを活用しながら「スポーツをすることの楽しさ、大切さ」を伝え、意識を高めていければと思っています。

また、「スポーツ推進委員」で「何をする人？・どんな事をしているの？」と言う方が多いように感じますので、広報活動にも力を入れ、認知度を高める努力を行い、それが人材の確保・育成にも繋がれば多様な活動が実践出来ると考えています。

# —長岡京市スポーツ推進委員協議会—

## 【会長挨拶】

林 秀行



はじめに、50年もの長きにわたり、協議会を支えてこられた先人の皆様方のご苦勞とその成果に、心より敬意を表します。物事は、始めることはもちろんですが、それを維持・発展させていくことは非常に難しいことでもあります。会長となり5年、まだまだ若輩者ではございますが、これまでの歴史に恥じぬよう、さらなる発展を目指して日々活動に取り組んでいるところでございます。

長岡京市スポーツ推進委員協議会では、市民のニーズに合った事業をすべく、日々検討を重ねています。主催事業はもちろん、市体育協会や各総合型地域スポーツクラブとの連絡調整や事業協力のなかでも、「昨年と同じではいけない」「常に参加者の視点に立って」を意識し、より良い事業を実施していこうと考えております。

50周年の節目をばねに、ますます京都府のスポーツが発展していくよう、本協議会としても取り組んでまいります。

## 【沿革】

昭和37年 4月 長岡京市体育指導委員協議会設立

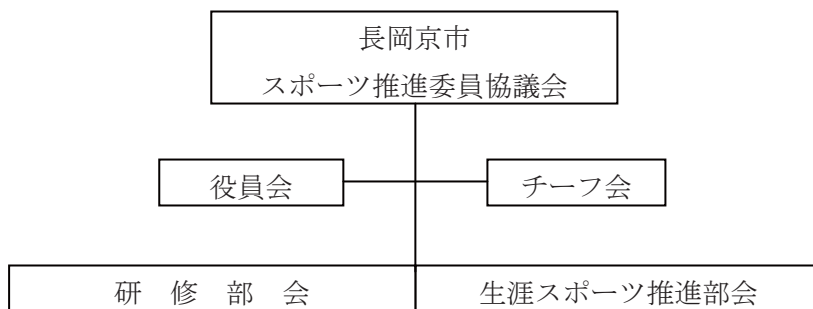
平成23年 10月 長岡京市スポーツ推進委員協議会に名称変更

昭和36年のスポーツ振興法施行に伴い、昭和37年4月1日より長岡京市体育指導委員に関する条例が施行、協議会が設立されました。定数は24名、任期は2年（再任可）。委員は、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を持ち、及びその職務を行うのに必要な能力を持つ者の中から教育委員会が委嘱を行っています。平成24年度は13名（うち女性委員6名）で活動中です。

長岡京市発祥のニュースポーツとして、昭和57年にミニバレーボール、昭和63年にファミリーバドミントンを開発しました。

## 【組織】

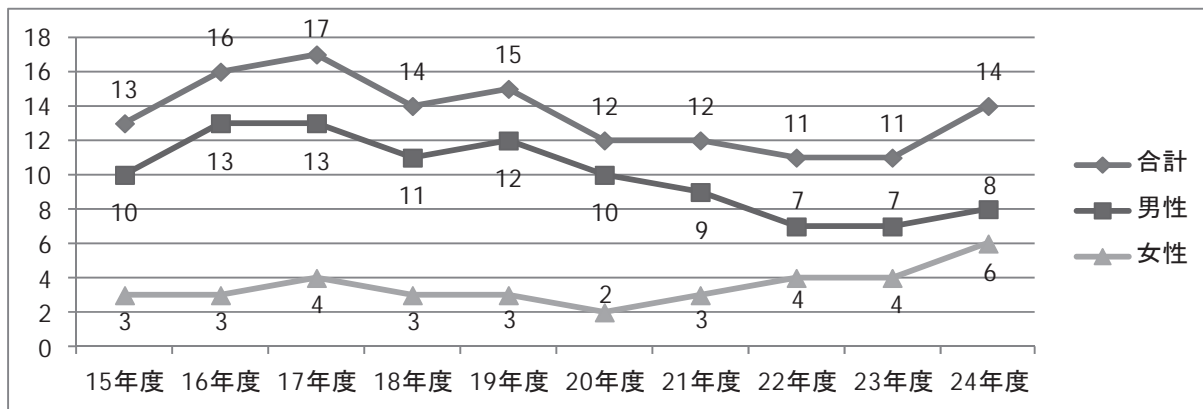
### 〔組織図〕



### [役員名簿(平成24・25年度)]

会 長：林 秀行  
 副 会 長：結城 正典 上杉 秀之  
 庶務会計：谷口 了  
 監 事：瀬川 克美

### [スポーツ推進委員数の推移(平成15～24年度)]



### 【歴代会長】

昭和 57 年度～昭和 62 年度	北村 正己
昭和 63 年度～平成 3 年度	篠田 智之
平成 4 年度～平成 11 年度	勝田 歳一
平成 12 年度～平成 19 年度	三好 喜勝
平成 20 年度～	林 秀行

### 【事業内容】

<自分の体をリフレッシュ！>

市民の人々が生涯にわたり自発的・継続的にスポーツ活動をしていくきっかけとなるよう、ニュースポーツを中心とした教室・講座を春、秋に各2～3日間の日程で実施しています。

(スリータッチボール、きんばれえ、ポールハイキング等)



↑ポールハイキングの風景

そのほか、各校区にニュースポーツを普及していく「巡回教室」や、依頼に応じて審判や講師として委員の派遣などを行っています。また、委員を対象に各種研修を実施し、常に委員の資質向上を心がけて活動しています。

### 【今後の取組(展望)】

これからも、市民のみなさんが気軽にスポーツに親しめる環境づくりや、ニーズに合ったニュースポーツの普及に向け、委員の資質向上に取り組んでいきます。そして、校区との連携を密にし、総合型地域スポーツクラブ等の団体と協力してスポーツ振興に取り組んでいこうと考えています。

各市町村の協議会・委員会の皆さま！組織を活性化し、ともに京都のスポーツを盛り上げていくべく、情報交換等、ぜひ交流を持ちましょう！